

◆発注関係事務に関する『地域独自指標』（業務）

必ず実施すべき事項										実施に努める事項											
指標項目	①予定価格の適正な設定			②予定価格の原則事後公表			③適正な履行期間設定	④適切な設計変更	①ICTを活用した生産性向上【新】			②入札契約方式の選択・活用【新】			③受注者との情報共有、協議の迅速化【新】			④発注見通しの統合・公表【新】			
	最新の技術者準備等の適用（年度途中に改定があった場合は見直す）	最新の積算基準の適用	事後公表としている、または、事前公表の場合でも、適否について十分検討し、調査設計等の業者の技術力や経営力による適正な競争を損ねる弊害が生じないよう適切に取り扱っている	業務の内容や規模、方法、地域の実情等を踏まえた業務履行に必要な日数のほか照査期間や週休2日を前後とした休日を考慮	設計条件の変化等に応じた適切な設計変更（積算変更）	①Web会議の活用 ②3次元データの活用 ③遠隔会議の活用 ④情報共有システムの活用 ⑤BIM/CIM等の活用 ⑥その他			ICTを活用した業務を発注している ①Web会議の活用 ②3次元データの活用 ③遠隔会議の活用 ④情報共有システムの活用 ⑤BIM/CIM等の活用 ⑥その他	プロポーザル方式、総合評価落札方式等の実施基準等を定め、業務発注時に導入している	ウイークリースタッスンに関する事項を設計図書に明示し実施している	①スケジュール管理表などによる情報共有に関する事項を設計図書に明示し実施している	当該年度の業務の発注見通しについて地域ブロック単位で統合し、四国地整HPの発注見通しにて公表している。	中長期的な業務の発注見通しとして、各事業の進捗状況を公表している	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況
状況	達成	達成	達成	継続		達成	達成	新規		新規		新規		新規		新規		新規		新規（四国地整のみ）	
評価の仕方				実施状況	備考（補足説明等）			実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）	実施状況	備考（補足説明等）
				※事後公表以外の場合は「事前公表」、「総合評価方式は事後公表としている」など状況が分かるよう記載				※実施している項目を記載 例：Web会議、遠隔会議など													
				×：未公表				×：未実施		×：基準を定めていない		×：明示していない		×：明示していない		×：未実施		×：未実施		×：未実施	
				△：公表しているが弊害が生じている				△：実施を予定している		△：基準は定めているが、対象業務がない		△：設計図書に明示しているが未実施		△：設計図書に明示しているが未実施		△：今後実施予定		△：今後実施予定			
				◎：実施している				◎：ICTを活用した業務を発注している		◎：基準を定め、対象業務があれば導入している		◎：設計図書に明示し、適切に実施している		◎：設計図書に明示し、適切に実施している		◎：実施済み		◎：実施済み			
	R6年度までの目標			全機関：◎				全機関：◎		全機関：◎		全機関：◎		全機関：◎		全機関：◎		全機関：◎		対象機関：◎	
				※なお、適切な技術力や経営力を持つ調査設計等の業者が適切に受注できる環境をつくるためにも、予定価格の事後公表の検討も行う。				※発注方式は「発注者指定型」、「受注者希望型」とどちらでも良い。 ※備考欄には実施した項目を記載。								※他にも「合同現地踏査」など、受発注者間で情報共有が図れ、協議の迅速化につながる項目を明示・実施しても良い。 ※備考欄に、明示・実施した項目を記載。					
				R5実績値 ◆97.3%				R5実績値 ◆62.5%		R5実績値 ◆53.6%		R5実績値 ◆53.6%		R5実績値 ◆32.1%		R5実績値 ◆91.1%		R5実績値 ◆-			

※達成項目については、引き続き継続して取り組んで行くこと。

R 6 実施状況（地域独自指標・業務）

指標 項目	必ず実施すべき事項					実施に努める事項							
	①予定価格の適正な設定		②予定価格の原則事後公表		③適正な履行期間設定	④適切な設計変更	①ICTを活用した生産性向上【新】		②入札契約方式の選択・活用【新】		③受注者との情報共有、協議の迅速化【新】		④発注見通しの統合・公表【新】
	最新の積算基準の適用	最新の技術者準備等の適用（年度途中に改定があった場合は見直す）	歩切り根絶（全ての業務で歩切り無し）	事後公表としている。または、事前公表の場合でも、適否について十分検討し、調査設計等の業者の技術力や経営力による適正な競争を損ねる弊害が生じないよう適切に取り扱っている	業務の内容や規模、方法、地域の実情等を踏まえた業務履行に必要な日数のほか照査期間や週休2日を前提とした休日を考慮	設計条件の変化等に応じた適切な設計変更（積算変更（積算代金額や履行期間の適切な変更）の実施）	I C T を活用した業務を発注している ①Web会議の活用 ②3次元データの活用 ③遠隔臨場の活用 ④情報共有システムの活用 ⑤BIM/CIM等の活用 ⑥その他	プロポーザル方式、総合評価落札方式等の実施基準等を定め、業務発注時に導入している	ウェークリースタンスに関する事項を設計図書に明示し実施している	①スケジュール管理表などによる情報共有に関する事項を設計図書に明示し実施している	当該年度の業務の発注見通しについて地域ブロック単位で統合し、四国地整HPの発注見通しにて公表している。	中長期的な業務の発注見通しとして、各事業の進捗状況を公表している	
愛媛県				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。		◎	①Web会議の活用 ②3次元データの活用 ③遠隔臨場の活用 ④情報共有システムの活用 ⑤BIM/CIM等の活用	◎	◎	◎	◎	◎
松山市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。		◎	Web会議の活用	◎	◎	◎	◎	◎
今治市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。		◎	Web会議の活用	◎	×	×	◎	◎
宇和島市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。		◎	WEB会議の活用	◎	×	×	◎	◎
八幡浜市				◎	事後公表を実施している。		◎	WEB会議の活用	◎	×	×	◎	◎
新居浜市				◎	事後公表としている。		◎	Web会議の活用	×	×	×	◎	◎
西条市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。		◎	Web会議の活用	△	△で“-ザ”ル方式の基準は定めているが、対象業務がない。	×	◎	◎
大洲市				◎	事後公表としている。		◎	Web会議の活用	◎	×	◎	◎	◎
伊予市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。		◎	Web会議の活用	◎	◎	◎	◎	◎

四国中央市	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	Web会議の活用	×		◎		×		◎	2年度（7月）より公表	
西予市	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	Web会議の活用	×	実施基準等は定めていないが、プロポーザルによることが適当と判断された案件について実施している	×		×		◎	2年度（7月）より公表	
東温市	◎	事後公表	◎	WEB会議の活用	◎		◎		◎	共通仕様書で履行報告を義務付け、進捗管理を実施。	◎		
上島町	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	WEB会議の活用	×		◎		×		◎	2年度（7月）より公表	
久万高原町	◎	事後公表	◎	Web会議の活用	◎		×	設計図書には明示していないが、適切に実施している	◎	共通仕様書で履行報告を義務付け、進捗管理を実施	◎		
松前町	×	非公表	◎	WEB会議の活用	×	実施基準等は定めていないが、プロポーザルによることが適当と判断された案件について実施している。	×		×		◎	2年度（7月）より公表	
砥部町	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	WEB会議の活用	◎	プロポーザル方式要領は定めている。	×		◎	共通仕様書で履行報告を義務付け、進捗管理を実施。	◎	2年度（7月）より公表	
内子町	◎	事後公表	◎	WEB会議の活用	×		×		×		◎	2年度（7月）より公表	
伊方町	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	WEB会議の活用	◎		×		×		◎		
松野町	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	WEB会議の活用	◎		×		×		◎	2年度（7月）より公表	
鬼北町	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	WEB会議の活用	◎	基準を定め、対象業務があれば導入している	◎	R6.4	×		◎	2年度（10月）より公表	
愛南町	◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。	◎	WEB会議の活用	◎	基準を定め、対象業務があれば導入している	◎	Wiークリースタンス実施要領を策定し、実施している。	◎	共通仕様書で履行報告を義務付け、進捗管理を実施	◎	2年度（7月）より公表	